

平成 30 年(2018 年)10 月 3 日
子ども・子育て支援審議会資料
児童部 子育て支援課

ニーズ調査の実施について(案)

1 趣旨

次期子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、本市における教育・保育事業や子育て支援事業の利用状況や希望を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に、就学前児童・小学生の保護者を対象にニーズ調査を実施します。

2 調査

(1) 内容

前回の調査では、大阪府が国の案に基づき調査票のひな形を示され、それをもとに調査票を検討し作成しました。

今回は、前回の調査票を基に、今後の子育て支援の取組の参考にするための項目を追加等して設問を構成しています。

(2) 調査対象者

平成 30 年(2018 年)3 月末現在

対象者	配付数	想定回収数	ページ	対象児童数
①就学前児童の保護者	3,000	1,800(60%)	26 頁	約 20,000 人
②小学生の保護者	3,000	1,800(60%)	18 頁	約 20,000 人

※各年齢 500 人を対象とし、無作為抽出

(3) 実施方法

郵送による配付(平成 30 年 12 月 10 日までに)及び回収

(4) 実施時期

平成 30 年 12 月 12 日(水)～平成 31 年 1 月 8 日(火)

(5) スケジュール

時期	内容
平成30年10月3日	第2回吹田市子ども・子育て支援審議会 ・ニーズ調査票(案)、対象者(案)を提示
11月中～下旬	第3回吹田市子ども・子育て支援審議会 ・ニーズ調査票、対象者を確定
12月10日まで	・ニーズ調査票の発送 (調査期間：12月12日(水)～1月8日(火))
平成31年1月8日	・ニーズ調査票の回収
2月下旬	第4回吹田市子ども・子育て支援審議会 ・ニーズ調査の結果(速報値)報告
3月下旬	第5回吹田市子ども・子育て支援審議会 ・ニーズ調査の結果の報告

3 ニーズ調査票等

(1) ニーズ調査票

ア 就学前:資料4-2を参照

イ 小学生:資料4-3を参照

(2) 調査項目

前回は、大阪府が国の案に基づき調査票のひな形を示され、就学前の教育・保育のニーズ量を算出するにあたって、国は必須などの項目設定をされていました。(小学生対象の調査票には設定はありませんでした。)

今回は、前回の調査票を基に、市の独自設問を追加して作成しています。

国必(国必須)	国が潜在ニーズ把握のための項目として指定している設問 (特段の理由がない限り、実施すべき必須)
国標(国標準)	国が潜在ニーズの背景や詳細な分析などに必要な項目として示している設問(必須ではないが、できるだけ加えることが望ましい)
府(府設定)	大阪府域全体や市町村の住民ニーズを的確に把握し、計画に反映させるために、大阪府が設定した設問 (必須ではないが、できるだけ加えることが望ましい)
市	市が独自設定した項目

ア 就学前 ニーズ調査項目案一覧

網掛：新規・修正箇所

項目	ページ	構成	設問 《※修正内容》
1 調査対象の属性等 (家族構成・就労状況等)	1	国必	1 お住まいの小中学校区
			2 調査票の記入者(宛名(子供)からみた関係)
			3 子供の生年月
		国標	4 子供の数及び末っ子の年齢
			5 希望する子供の数
		府	6 もう1人以上子供を産みたいか
			6-1 どのような環境ならもう1人以上の子供を産みたいですか。
	2	市	7 医療的ケアの有無
			8 子育て以外に高齢者や障がいのある人(子供)の介護を日常的に行っていますか。
		国必	9 お子さんとの同居・近居の状況
			10 子供の子育て・教育は主に誰がしますか。
		国標	11 日頃、子供の面倒を見てもらえる人は
	12 子育て・教育について、気軽に相談できる人や場所は 《※選択肢の追加・修正》		
	3	国必	13 母親の就労状況
			13-1 母親の1週間の就労日数、1日当たりの時間、出勤・帰宅時間
		国標	14 父親の就労状況
			14-1 父親の1週間の就労日数、1日当たりの時間、出勤・帰宅時間
4	国必	15 フルタイムへの転換希望(母親・父親)	
		16 母親・父親の働きたいという希望は	
	府	16-1 働きたいという理由は	
2 平日(月～金)に定期的に利用している保育園や幼稚園、認定こども園など	5	国必	17 幼稚園や保育所などの子供を預かる施設やサービスを定期的な利用は
			17-1 そのような施設やサービスを利用していない理由は
			17-2 現在、どのような施設やサービスを利用していますか。 (年間を通じて平日に定期的に利用しているサービス) 《※選択肢の追加》
	6	市	17-3 問17-2で回答した施設等を利用している理由
			17-4 支給認定について(現在、幼稚園、幼稚園+幼稚園の預かり保育、認可保育園、認定こども園、家庭的保育、事業所内保育施設、居宅訪問型保育のいずれかの利用者に)
			17-5 現在利用している保育園等の施設やサービスの利用希望(日/週間、時間/日)
		国標	17-6 現在利用している施設の所在(市内or市外)
17-7 幼稚園、保育所や認定こども園などの施設やサービスを利用している理由			
3 子供が病気になったときの対応 (平日に定期的に利用している幼稚園や保育所などの施設やサービスの利用者のみ)	7	国必	18 この1年間に、子供の病気・けがで、幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかったことは
			18-1 そのような時の対処方法とその日数
			18-2 そのような時に「できれば病気の子供のための保育施設などを利用したい」と思いましたか。
	8	国標	18-3 利用する場合、どのようなサービスが望ましいですか。
18-4 そのような時に利用したくないと思うその理由は			
4 平日(月～金)に、子供に定期的に利用させたい、保護者が定期的にご利用したいと考える施設やサービス	8	国必	19 現在利用している、利用していないにかかわらず、平日に、子供に定期的に利用させたい、保護者が利用したい施設・サービスは 《※選択肢の追加》
		市	19-1 問19で回答した施設等えを利用したい理由は
5 土曜日・日曜日・祝日と夏休み・冬休みなど長期休暇中における定期的な利用希望(仕事や介護などの定期的な利用で、一時的な利用は除く)	9	国必	20 土曜日・日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などの利用希望は
			21 夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用希望は
6 幼児教育・保育の無償化	10	市	22 無償化が実現したら子どもを増やしたいですか。
			23 無償化が実施された場合、子どもを預かる施設等を利用したいですか。
	11	市	23-1 どの施設やサービスを利用したいですか。
			23-2 無償化前と無償化が実施された場合の希望す施設等が異なる理由は
23-3 無償化が実施された場合の利用開始時期は(歳か月)			

項目	ページ	構成	設問 ※修正内容
7 育児休業など、仕事と子育ての両立	11	国標	24 子供が産まれたとき、母親・父親は育児休業を取りましたか。
			24-1 育児休業取得後の職場復帰しましたか。(母親・父親)
			24-2 育児休業取得後、職場復帰したのは子供が何歳何か月のときか。希望としては、子供が何歳何か月まで取得したいですか。(母親・父親)
	12	府	24-3 職場に、育児のため3歳まで取得できる制度があるなら、希望として、子供が何歳何か月まで取得したいですか。(母親・父親)
			25 母親・父親が平日・休日に子供と一緒に過ごす時間はどのくらいか。(一週間の平均時間) また、その時間は十分ですか。
	13	府	26 母親・父親の1日当たりの家事の時間(1週間の平均時間)は。
27 仕事と子育てを両立させるのに課題と思うことは			
8 子供が5歳以上の方に、小学校就学後の放課後の過ごし方	13	国必	28 小学生になったら、放課後(平日の小学校終了後)に時間どのような場所で過ごさせたいですか。低学年、高学年で回答、留守家庭児童育成室を選択した場合は利用希望時間も ※選択肢の追加
			14
	30 夏休み・冬休みなどの長期休暇中の留守家庭児童育成室の利用希望は。低学年、高学年、利用したい場合は時間帯も		
		市	31 現在、留守家庭児童育成室の対象は4年生までだが、何年生まで利用したいか。
9 子供の幼稚園や保育所などでの「不定期な利用」や「宿泊を伴う一時預かり」などの利用	15	国必	32 私用、御自身や親の通院、不定期な仕事などの理由で子供を預かるサービスを不定期に利用したか。
			33 私用、御自身や親の通院、不定期な仕事などを理由で、1年間に何日くらい保育所などの「一時預かり」を利用する必要があるか。利用したい場合は目的ごとの日数と合計日数。※質問の補足
		国標	33-1 問30の目的で子供を預ける場合の望ましい子育て支援サービスは。※質問の補足
	16	国必	34 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事で子供を泊りがけて家族以外にみてもらわないといけなかった場合の対処方法は。年間合計泊数は。預け先がなかった場合も。
10 地域の子育て支援事業の利用状況	16	国必	35 利用回数は(1週間当たりか1か月あたり) ※用語説明の追加
			36 今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日を増やしたいと思うか。一定の利用料が発生する場合がある。(1週間当たりか1か月あたり)
		府	36-1 どのようなサービスを利用したいか
	17	国標	37 認知度・利用度について、利用したことがあるか、今後利用したいか。利用しない理由は。 ※選択肢の追加・修正、利用しない理由欄の追加
11 市役所などへの要望	18	府	38 子育て経験などから、どのような子育て支援事業を充実してほしいか。 ※選択肢の追加
12 子供の生活習慣	18	府	39 ・朝ごはんはたべるか ・1日一回は家族と食事をしますか ・平日のテレビ・ビデオ(ゲーム含む)の1日の平均視聴時間 ・就寝時刻は
13 子育てを支援する生活環境の整備や子供の安全の確保	19	府	40 子供との外出時に困ること、困ったこと
			41 お住まいの地域の子供の遊び場は満足しているか
			42 お住まいの地域の子供の遊び場について日頃感じること
	20	市	43 吹田市の子育て環境・子育て支援の満足度
			44 吹田市(家庭・地域・学校など)は子供にとって住みやすいか
			45 今後も吹田市内で子供を育てたいか
			45-1 育てたいと思う理由は
		45-2 育てたいと思わない理由は	
14 子育てに対する意識	20	府	46 近所に日常的に子供の話や世間話をする人はいますか。
			47 子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますが、それともつらいと感じることが多いですか。
	21	府	47-1 子育ての中で、どのような支援・対策が有効か ※選択肢の追加
			47-2 子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は ※選択肢の追加
	22		48 子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは
		49 御自身の子育てが地域の人に支えられていると感じるか。特に誰から支えられていると感じるか。感じない場合、誰から支えてほしいですか。	
15 その他	23	-	50 教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関する意見を自由記入

イ 小学生 ニーズ調査項目案一覧

網掛：新規・修正箇所

項目	ページ	設問 《※修正内容》
1 調査対象の属性等 (家族構成・就労状況等)	1	1 お住まいの小学校区
		2 調査票の記入者(宛名(子供)からみた関係)
		3 子供の生年月
		4 子供の数及び末っ子の年齢
		5 医療的ケアの有無
		6 子育て以外に高齢者や障がいのある人(子供)の介護を日常的に行っていますか。
		7 お子さんとの同居・近居の状況
	2	8 子供の育て・教育は主に誰がしますか
		9 日頃、子供の面倒を見てもらえる人は
		10 子育て・教育について、気軽に相談できる人や場所は 《※選択肢の追加・整理》
		11 母親の就労状況
	3	11-1 母親の1週間の就労日数、1日当たりの時間、出勤・帰宅時間
		12 父親の就労状況
		12-1 父親の1週間の就労日数、1日当たりの時間、出勤・帰宅時間
13 フルタイムへの転換希望(母親・父親)		
4	14 母親・父親の働きたいという希望は	
	14-1 働きたいという理由は	
2 留守家庭児童育成室の利用	4	15 平日(月～金)に、現在、留守家庭児童育成室を利用していますか。
		16 現在利用している状況は (1週間に何日利用し、1日あたり何時間(何時まで)利用希望は)
	5	16-1 留守家庭児童育成室を利用する理由は
		16-2 留守家庭児童育成室の土曜日、日曜日・祝日の利用希望は (仕事や介護による定期的な利用(一時的な利用は除く))
		16-3 毎週ではなく、たまに利用したい理由は
		16-4 現在通っている留守家庭児童育成室に希望することは
	6	16-5 小学4年生以降の放課後の過ごし方にどのようなことを望みますか
		17 留守家庭児童育成室を利用していない理由
		17-1 今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、留守家庭児童育成室を利用したいと考えますか。希望がある場合は日数・時間も
	7	18 現在の留守家庭児童育成室は4年生までが対象だが、6年生まで利用できるとしたら利用したいですか。
18-1 6年生まで利用できるとしたら、留守家庭児童育成室にどのようなことを期待しますか。		
3 子供が病気になったときの対応や不定期な一時預かり	7	19 この1年間に子供が病気やけがで小学校を休んだことは
		19-1 この1年間に子供が病気やけがで小学校を休んだときの対処方法とその日数は
		19-2 父母が仕事を休んだとき、できれば病気の子供のための保育施設などを利用したいと思っただか希望がある方は日数
	8	20 私用、御自身や配偶者の親の通い、不定期な仕事などを理由として、家族以外の誰かに一時的に預けたことはありますか。対処方法とその日数は(子供が病気のときの保育施設は除く)
		21 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、子供が泊りがけで家族以外にみてもらわないといけないことで対処した方法は(年間合計泊数)

項目		ページ	設問 《※修正内容》	
4	仕事と子育ての両立	8	22	母親・父親が平日・休日に子供と一緒に過ごす時間はどのくらいですか。(一週間の平均時間)また、その時間は十分ですか。
			9	23
			24	仕事と子育てを両立させるのに大変だと思うことは
5	市役所などへの要望	9	25	あなたの子育て経験などから、市役所などに対して、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。 《※選択肢の追加》
6	生活習慣	10	26	・朝ごはんはたべるか ・1日一回は家族と食事をしますか ・平日のテレビ・ビデオ(ゲーム含む)の1日の平均視聴時間 ・就寝時刻は
7	普段の過ごし方	10	27	平日の放課後および休日の普段の過ごし方で1番多いものを時間帯ごとに 《※選択肢の追加》
8	地域での自然体験などへの参加など	10	28	お住まいの地域は子供にとって、自然・社会・文化などの体験しやすい環境か
			29	参加したことがある自然体験・社会参加・文化活動は
		11	29-1	これまでに参加していない理由は
			30	参加したことはないが、今後参加させたい自然体験・社会参加・文化活動は
9	子育てを支援する生活環境の整備や子供の安全の確保	12	31	お住まいの地域の子供の遊び場は満足か
			32	お住まいの地域の子供の遊び場について日頃感じること
			33	吹田市の子育て環境・子育て支援の満足度
			34	吹田市(家庭・地域・学校など)は子供にとって住みやすいか
			35	今後も吹田市で子育てを育てたいか
			35-1	育てたいと思う理由は
		13	35-2	育てたいと思わない理由は
10	子育てに対する意識	13	36	近所に日常的に子供の話や世間話をする人はいますか。
			37	子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますが、それともつらいと感じることが多いですか。
			37-1	子育てする中で、どのような支援・対策が有効か 《※選択肢の追加》
		14	38-2	子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は 《※選択肢の追加》
			38	子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは
15	39	御自身の子育てが地域の人に支えられていると感じるか。特に誰から支えられていると感じるか。感じがない場合、誰から支えてほしいですか。		
11	その他	15	40	教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援についての意見を自由記入